

令和7年度「浜松市教育文化奨励賞」受賞者の決定について

浜松市では、文化芸術及び教育の振興に優れた業績を上げ、今後一層の発展が期待される個人や団体に対して、「地域文化賞」及び「浜松ゆかりの芸術家」の2部門で構成される、「浜松市教育文化奨励賞」を授与しております。

この度、浜松市教育文化奨励賞審査会を経て、令和7年度の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

1. 令和7年度受賞者

「地域文化賞」

個人3名 すずきよしお 鈴木義男、たかばやしゆきよし 高林行善、かみじまひろし 上嶋裕志

団体1組 はままつきたちいき 浜松北地域まちづくり協議会 きょうぎかい

「浜松ゆかりの芸術家」

音楽ユニット ジャムナイン Jam 9 (※同賞初の団体受賞)

2. 「浜松市教育文化奨励賞」授与式

日時：令和7年11月14日（金）午後3時45分～（45分程度）

場所：秘書課 応接室

（参考）「浜松市教育文化奨励賞」について

「浜松市教育文化奨励賞」は以下2部門で構成される。

「地域文化賞」

市内に居住し、若しくは勤務する個人又は市内に所在する団体で、現に浜松市の文化芸術又は社会教育の振興及び向上に優れた業績を挙げるものに授与。

昭和56年度から実施し、令和6年度までに個人53名と118団体が受賞。

「浜松ゆかりの芸術家」

浜松市に出生した者、浜松市民若しくは浜松市民であった者、市内の学校に在学した者又は市内の事務所に勤務した若手の芸術家で、国内外において広く活躍するものに授与。

平成6年度から実施し、令和6年度までに37名が受賞。受賞者の選考は2年に1回行い、受賞の翌年に顕彰事業を実施する。

令和7年度「地域文化賞」受賞者概要①

すずき よしお
鈴木 義男（浜松市在住、1948年生まれ）



○三ヶ日文化協会でのリーダーシップ

三ヶ日文化協会の会長を2025年5月までの12年間歴任し、三ヶ日文化協会の財政の健全化、文化功労者の表彰、芸術文化の広報誌「いのはな」の発行、地域貢献活動として学校や福祉施設を訪問し、文化振興団体への支援を行ってきた。また、強いリーダーシップを発揮し、他地区の文化協会が会員の高齢化や減少に悩む中、400人もの会員数を減らすことなく維持するよう働きかけ、地域の文化活動の振興と発展に寄与した。現在は顧問を務め、小中学校や図書館での講演も精力的に行っており、今後も地域文化振興への貢献が期待される。

○幅広い知識を活かした歴史文化・生涯学習の推進

教職の経験を活かし、小・中学校で蜜柑の歴史や栽培方法を講義し、後継者の育成に努めるとともに、史跡巡りや郷土史の講話などを通して歴史文化の継承に貢献した。

主な経歴

年	内容
2008	・静岡県立静岡中央高等学校 定年退職
2009	・三ヶ日文化協会 三ヶ日町郷土を語る会（～現在）
2013	・三ヶ日文化協会 会長就任（～2025年5月）
2016	・三ヶ日ライオンズクラブ（2009年～2019年） 会長就任

令和7年度「地域文化賞」受賞者概要②

たかばやし ゆきよし
高林 行善（浜松市在住、1954年生まれ）



○篠笛指導を通じた人材育成

長年にわたり篠笛の普及と指導に尽力し、浜松市の子供から大人まで幅広い世代に邦楽の魅力を伝えてきた。特に、小学校における篠笛指導では、子供達が音を奏でる喜びを体験するとともに、日本の伝統音楽への理解を深める機会を提供している。また、浜松まつりや地域行事においても、積極的に指導と寄贈を行い、次世代が地域文化に参加する環境を整えてきた。実際に高林氏に指導を受けた小学校の卒業生がお祭りや学校で篠笛指導をしている。現在も上記のような活動を精力的に行っており、今後も地域文化の保存・継承だけでなく、次世代を担う人材の育成への貢献が期待される。

○篠笛奏者、製作者としての活動

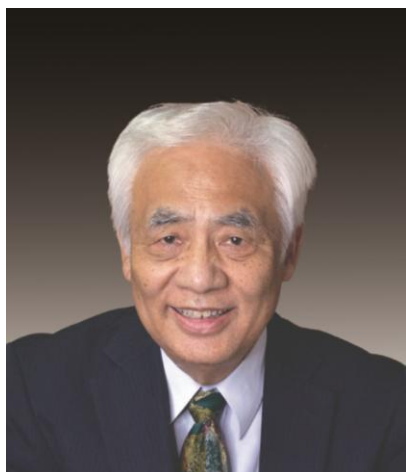
造園業を営む傍ら、45歳から篠笛を吹き始め、篠笛の製作も同時期から行う。福原徹（東京藝術大学等で講師、過去に芸術選奨文部科学大臣賞等を受賞）に師事し、2010年「福原芳華」の名前を頂く。奏者及び製作者としてのキャリアは今年で24年を迎えた。製作した篠笛は、プロ奏者も利用するなど評価も高い。

主な経歴

年	内容
2002	・篠笛奏者・製作者の活動 開始（～現在）
2004	・都田小学校への篠笛無償譲渡 開始（～現在）
2006	・大瀬町の子供会への篠笛無償譲渡 開始（～現在）
2010	・福原徹氏から福原芳華の名前を頂く（篠笛囃子 福原流）
2011	・浜松市アクティビティ音楽院派遣指導者 開始（～現在）
2020	・北浜中学校、引佐町渋川寺野のひよんどり（国指定重要無形民俗文化財）への篠笛無償譲渡 開始（～現在）

令和7年度「地域文化賞」受賞者概要③

かみじま ひろし
上嶋 裕志（浜松市在住、1951年生まれ）



○地域の歴史文化の記録、保存、情報発信

大学生と共に町内の歴史・伝承をまとめた冊子の制作配布、遠江ひよんどりやおくない連絡協議会の事務局運営、姫街道連絡協議会「姫街道未来塾」の立ち上げなど、30年にわたって地域の歴史文化を伝承する活動を熱心に行ってきた。その幅広い歴史文化の取材・調査活動を冊子、ガイドボランティア、歴史文化の検定試験を通して地域に伝え、身近な歴史文化の理解促進に貢献した。現在も浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会広報担当、浜松市からの委託で「山と里の民俗」「歴まち散歩」で編集・発行を担当するなど精力的に活動を行っており、今後も地域の歴史文化の保存・継承への貢献が期待される。

○社会教育・学校教育への貢献

気賀小学校、気賀中学校（引佐郡PTA連合会長・県PT役員）のPTA役職をへて気賀高等学校のPTA副会長・会長を歴任している他、県委託家庭教育支援センター開設、西気賀小運営協議会委員、聖隷厚生園第三者委員、民生児童委員を任され、青少年の健全育成へ貢献してきた。

主な経歴

年	内容
1989	・（有）デザイン工房夢風舎 設立（～現在）
1998	・細江町町議会議員 当選（～2005）
2009	・姫街道連絡協議会 姫街道未来塾 設立（～現在）
2013	・浜松市無形民俗文化財保護団体 事務局（～現在）
2025	・「ふじのくに文化財保存・活用推進団体 県知事表彰」受賞

令和7年度「地域文化賞」受賞者概要④

はままつきたちいき きょうぎかい
浜松北地域まちづくり協議会（2012年設立）



○まちづくり活動を通じた地域文化の向上及びコミュニティ活動の活性化

都田・新都田地区、三方原地区の住民で構成される本団体は、浜松市が政令指定都市に移行後、地域の課題解決や情報共有ができる場がほしいという地域住民の思いにより自主的に設立された団体である。今回の区再編で構成委員の区が分かれてしまったが、ウォーキングイベント、婚活イベント、まち歩きガイド、地域の歴史を知る冊子の作成など継続した団体の活動を通じて両地域の交流を図るとともに活動のノウハウを継承している。さらに地域の小学校、大学（医大を含む）、図書館等への教育支援や防災・安全活動を行い、人材育成活動も積極的に行っている。また、都田テクノポリス修景彫刻ガイドブックの作成、都田・三方原地区八景のマップ作りなど地域の文化芸術力向上に大きく貢献してきた。

今後も作成した冊子を他地域に配布するなど、地域に留まらない活動が予定されており、今後一層の地域文化の向上及びコミュニティ活動の活性化への貢献が期待される。

主な経歴

年	内容
2012	・住民主体で設立（～現在）
2013	・鍵盤ハーモニカ同時演奏ギネス記録達成に多大な貢献（～現在） ・ガイドマップ「都田八景・三方原八景」を常葉大学と作成配布
2014	・「浜松市民活動表彰 北区長賞」受賞
2016	・都田図書館展示コーナー企画運営（～現在） ・浜医大との地域活性化プロジェクト開始（～現在）
2022	・「三方原協働センター委託事業」受託開始 ・「徳川家康公ゆかりの地マップ」作成と歴史講演会開催
2025	・「水難の教え子を救った都田小学校の先生」作成、市内配布（静岡新聞・中日新聞朝刊に取り上げられる）

令和7年度「浜松ゆかりの芸術家」受賞者概要

ジャムナイン

J a m 9 (音楽ユニット)



メンバー

左：Giz' Mo (RAP)

中：MOCKY (DJ)

右：イシノユウキ (VOCAL)

浜松市出身のGiz' Moとイシノユウキ兄弟が御前崎市出身のMOCKYと浜松市で2003年に結成。2010年に浜松市在住のままメジャーデビューし、現在も浜松市在住のまま楽曲制作や日本各地での音楽活動を展開。作曲家としても活躍しており、華原朋美・倅田来未・乃木坂46・TWICE・King & Prince等のアーティストに楽曲提供を行っている。2020年代にはテレビドラマ劇中歌や映画音楽の世界にも進出。マドリッド国際映画祭にて音楽賞にノミネート。

主な経歴

年	内容
2003	・浜松市内でバンド活動をしていたGiz' Mo・イシノユウキ兄弟と、DJ MOCKYが出会い、Jam9を結成
2009	・『衝動～beleave myself～』が清水エスパルスのシーズン・サポートソングに起用される。
2010	・シングル「家族」でメジャーデビュー。ヒットし、9放送局とタイアップを結ぶ。
2011	・「浜松市やらまいか大使」に任命される。
2012	・静岡県の人権週間メッセンジャーに起用される。
2013	・「LINK!!」が鈴与グループのCM局に起用される。
2014	・「VISIT47」と称する、キャンピングカーで全国47都道府県を巡るライブツアーを開催
2019	・「アクトシティ浜松大ホール」での単独公演に挑み、2300席をソールドアウトさせる
2022	・映画「Somedays」音楽全編をプロデュース。翌年のマドリッド国際映画祭にて音楽賞にノミネートされる。
2023	・TBSドラマ「夕暮れに、手を繋ぐ」で劇中歌「きっと泣く」の作詞作曲を担当。
2024	・東名阪ツアー「UNIEX」を主催。
2025	・清水エスパルス2025シーズンソング「HISTORIA」を配信リリース。